

編集後記

透析患者の血圧は変動が著しい。透析中は除水が原因となり血圧は多くの場合低下するが、逆に上昇する場合もある。また、透析終了直後に思わぬ血圧低下や血圧上昇に遭遇することも多々ある。

透析スタッフにとり透析前と透析中の血圧は把握しやすいが、透析後の血圧、とくに非透析日の血圧は把握が難しい。患者自身に家庭血圧を管理する能力と意思がなければ、透析スタッフにとってまったく把握できない情報となる。透析中のみではなく、非透析日の血圧管理こそが生命予後に直結する重要因子であるとの研究報告もある。

透析患者の血圧は変動が顕著なため、高血圧管理に関するガイドラインの作成が難しいとされる。そのため、国内外に確立した透析患者を対象

とした高血圧管理ガイドラインはないのが現状である。されど、透析という体外循環治療をするうえで、血圧管理は最も重要な日常診療課題である。

この特集では、透析患者の血圧管理に関する現時点での国内および海外での考え方、また血圧測定法や脈拍の問題、ドライウエイト設定と血圧との関連、降圧薬の選択と服用方法など、血圧管理に関する諸問題を具体的に解説いただいた。一方で、透析低血圧もまた透析患者にとって重要な課題である。この現象に対する原因精査、対処法なども取り上げて解説いただいた。

この特集が透析患者の日常診療に役立つことを祈っている。

(西 慎一)

2024 年 (Vol. 40) 特集のご案内

No.① 骨合併症（骨折、アミロイド症を含む）
No.② 血液透析患者の血圧を再考する

No. 3 “透析看護” 研究，論文発表に繋げよう！

(既刊は○)

臨床透析® Vol.40 No.2

© 2024 年 2 月 10 日発行
定価：2,860 円
(本体 2,600 円 + 税 10%)

・ 2024 年 年間購読料 (増刊号含む 13 冊，税込)
冊子版 39,050 円
電子版 (個人のみ) 39,050 円
冊子版 + 電子版 (個人のみ) 44,550 円
(詳しくはホームページをご覧ください)
・ 年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2024, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541